

ダクト用換気扇（雑ガスセンサー自動運転タイプ）〔居間・事務所・店舗用〕

| | |
|----------|-------------------|
| グリル形式・色調 | 着せ替えインテリア・クールホワイト |
| 形名 | VD-18ZA8-W |

取付工事説明書

販売店・工事店さま用










取付工事を始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

- 取付工事、壁穴工事、電気工事はお買上げの販売店・工事店さまが実施してください。
- この製品は、居間・事務所・店舗の天井に取付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- この製品には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチが必要です。その他屋外フード等は三菱換気送風機総合カタログにより別途ご用意ください。
- 当社製以外の電子式スイッチ（半導体制御による速調スイッチ・タイマー等）やホテルスイッチをご使用の場合は組合せ上、不具合の発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめご確認ください。
- 接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の塩化ビニル管・アルミフレキシブルダクト・鋼板管のいずれかをご用意ください。

1.安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

|  警告 | 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの |  注意 | 誤った取扱いをしたとき、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの |
|--|---|---|--|
|  禁止 | <ul style="list-style-type: none"> ●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発や引火の原因。 |  禁止 | <ul style="list-style-type: none"> ●直接炎のあたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には取付けない 火災の原因。 |
|  水ぬれ禁止 | <ul style="list-style-type: none"> ●製品を水につけたり、水をかけたりしない ショート・感電の原因。 |  浴室での使用禁止 | <ul style="list-style-type: none"> ●浴室など湿気の多い場所には取付けない 感電・故障の原因。 |
|  分解禁止 | <ul style="list-style-type: none"> ●改造や必要以上の分解はしない 火災・感電・けがの原因。 |  指示に従う | <ul style="list-style-type: none"> ●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に 落下によりけがの原因。 ●部品の取付けは確実に 落下によりけがの原因。 ●取付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因。 ●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に 接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因。 |
|  指示に従う | <ul style="list-style-type: none"> ●交流 100 V を使用する 火災・感電の原因。 ●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取付ける 漏電した場合発火の原因。 | | |

2.取付け前のお願い

天井・ダクト工事

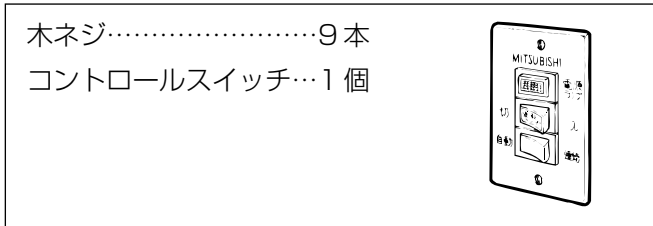
- 天井板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものをご使用ください。
- 排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下り勾配をつけてください。
- 排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのベントキャップ、または雨水の浸入を防ぐための深形フード、外風が強いところでは耐外風フードなどのシステム部材を取付けてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因になります。
 - 極端な曲げ
 - 多数の曲げ
 - 吐出口のすぐそばでの曲げ
 - しぼり



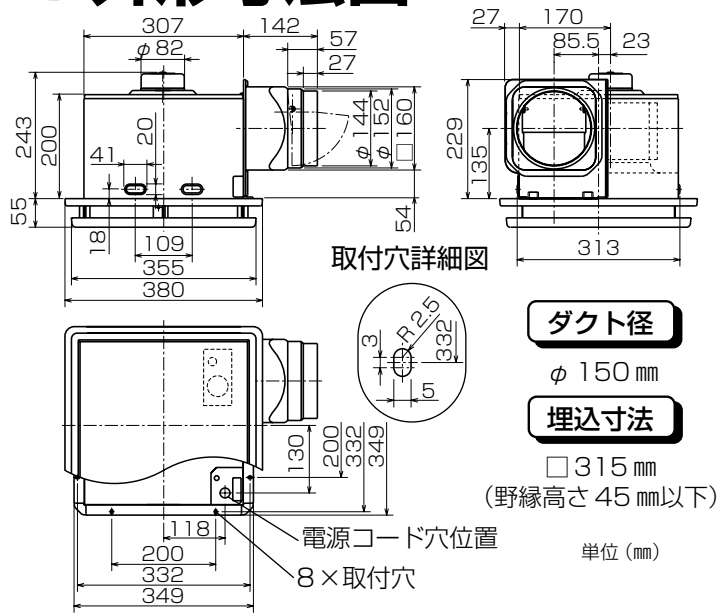
取付け

- ダクト用システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。
- 高温（40℃以上）になるところには取付けないでください。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
- 傾斜天井には取付けないでください。シャッター開閉不良、振動、異常音の原因となります。

3.付属部品



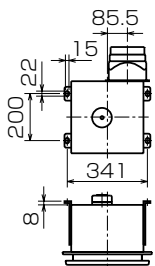
4.外形寸法図



5.取付方法

- 取付手順例
- 1 取付け前の準備
 - 2 ダクト工事
 - 3 本体を吊る
 - 4 電気工事
 - 5 軽量鉄骨を組む
 - 6 本体の固定
 - 7 天井材を張る
 - 8 グリルの取付け

1 取付け前の準備



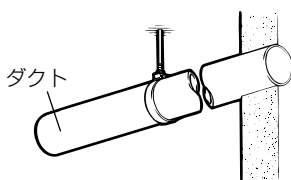
取付位置・壁排気穴位置を決め、市販の吊りボルト（M8）を埋め込む。（左図参照）

2

ゴムクッション
天吊金具
吊りボルトナット（市販品）
ワッシャー（市販品）

本体を水平にし、天吊金具を吊りボルトに取付け、ナットがゆるまないよう市販のワッシャー・ナットにて確実な処置で固定します。

2 ダクト工事



壁排気穴から本体のダクト接続口位置までダクトを配管する。

- ダクトは本体に力が加わらないよう天井より吊るす。

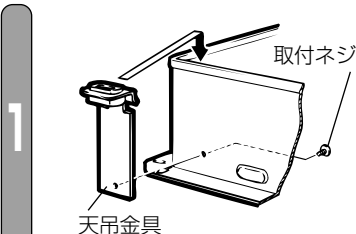
3

テーピング ダクト
ダクト接続口

ダクト接続口とダクトを接続する

- 接続部は風漏れのないよう市販のテープを巻く。
- 塩化ビニル管との接続は、ダクト方向の調整が可能。（全方向7°）

3 本体を吊る (野縁を使用する場合は4ページを参照)



天吊金具 P-08TK（システム部材）を取付ける。

- 天吊金具を本体に引掛けて内側より取付ネジで固定します。

ダクトとダクト接続口の接続をネジで固定する場合

ネジによる接続

(1) 左図のように矢印から水平に70 mmの位置に市販のドリルネジで固定する。スパイラルダクトでハゼ部が上記70 mmの位置にくる場合は、矢印から水平に60 mmの位置に固定してください。

(2) 風漏れのないよう市販のアルミテープ等でネジの頭をテーピングする。

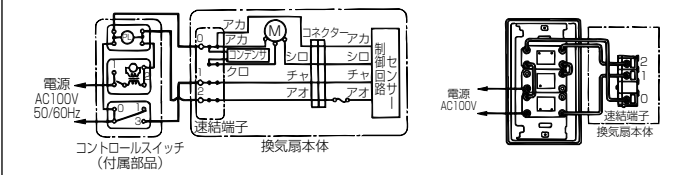
ドリルネジ
ダクト
ハゼ
70 mm
基準線
ダクト接続口

| ダクト呼び径 φ 150の場合 | | | |
|-----------------|-------------|---------|-----------|
| ダクト径(mm) | 150(スパイラル等) | 155~160 | 165(VP管等) |
| ネジ 呼び長さ | 10 | 13 | 10 |

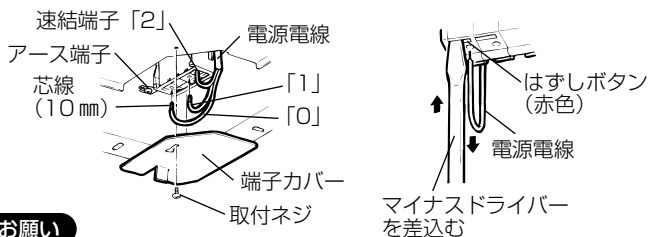
4 電気工事 ※速結端子は図と異なることがあります。

●専門の電気工事店が、電気設備技術基準に基づいて行う。

■結線図 太線部分を結線してください。



1. 本体上部のゴムブッシュより電源電線（屋内配線 VVF ケーブルφ 1.6、φ 2）を通す。
2. 端子カバーのネジ 1 本を外して端子カバーを開け、速結端子に皮ムキした芯線を確実に奥まで差し込む。（結線図参照）
3. 端子カバーを元通り取付ける。

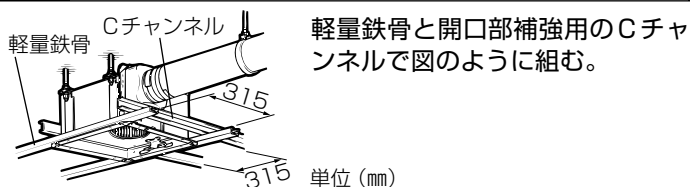


お願い

- 誤結線によるモーター・回路故障の場合、サービス費用（交換部品代含む）はお客様負担となりますので結線図を十分確認の上、結線してください。
- 電源電線の外皮は 70 mm 以上皮むきしてください。
- 電線被ふくは 10 mm 皮むきしてください。端子カバーに刻印されている皮むき寸法図に合わせて、皮むきすると便利です。（10 mm 以上むくと漏電の原因になります）
- より線を結線する場合は、市販の棒状圧着端子をより線に取付け、速結端子に確実に差し込んでください。
- 電源電線は、接続部に力が加わらないよう本体付近で約 150 mm たるませてください。
- アース接続の際は単線φ 1.6 か、より線 1.25 mm² をご使用ください。（圧着工具は日本圧着端子製 YHT-2210 をご使用ください。）
- 電源電線を速結端子よりははずす場合は、マイナスドライバーで速結端子のはずしボタン（赤色）を押しながら電源電線を引抜いてください。

本体を野縁に取付ける場合は **7 天井材を張る** へつづく

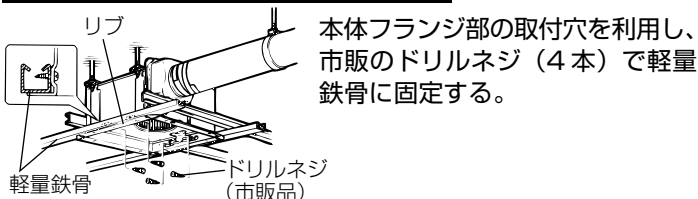
5 軽量鉄骨を組む



軽量鉄骨と開口部補強用のCチャンネルで図のように組む。

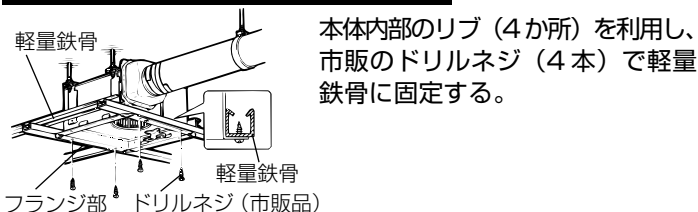
6 本体の固定（メンテナンスができるよう固定）

軽量鉄骨がダクト配管と平行な場合



本体フランジ部の取付穴を利用し、市販のドリルネジ（4本）で軽量鉄骨に固定する。

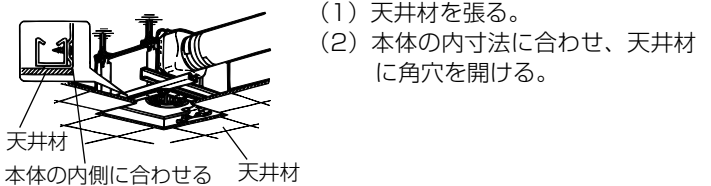
軽量鉄骨がダクト配管と垂直な場合



本体内部のリブ（4か所）を利用し、市販のドリルネジ（4本）で軽量鉄骨に固定する。

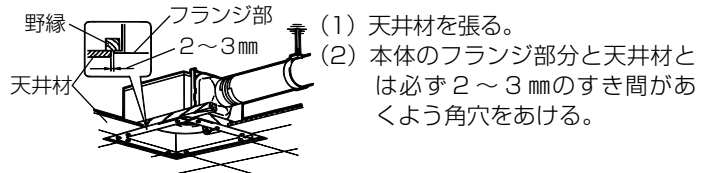
7 天井材を張る

本体を軽量鉄骨に取付ける場合



- (1) 天井材を張る。
- (2) 本体の内寸法に合わせ、天井材に角穴を開ける。

本体を野縁に取付ける場合

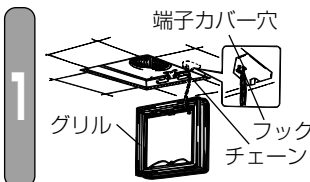


- (1) 天井材を張る。
- (2) 本体のフランジ部分と天井材とは必ず 2 ~ 3 mm のすき間があくよう角穴をあける。

お願い

- 本体固定の際は本体と天井材にすき間のないように固定してください。（すき間があると風漏れの原因になります）
- 天井材の厚さは 25 mm 以下で施工してください。（グリルが天井材に密着しない場合があります。）

8 グリルの取付け



チェーンを取付ける。

- グリルの裏側に貼ってある注意ラベルの指示位置に従ってフックを端子カバーの穴に左図のように引掛ける。

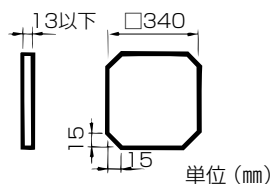


グリルを取付ける。

- グリルの 2 つのパネを両手でつかみ、パネを本体内部の長穴に差し込む。軽くグリルを押し天井材に密着させる。

グリルと天井材を合わせる場合

グリルと天井材が同一で見えの良い取付けかたです。

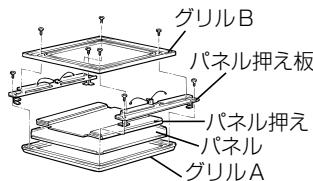


- (1) 天井材を切断する。

お願い

- 天井材は厚さ 13 mm 以下のものを使用してください。
- 天井材は重いもの・われやすいものは避けてください。（1.0 kg 以下）

- (2) グリルを分解します。

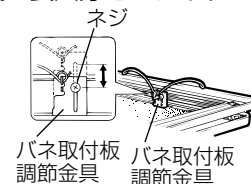


- ネジ 4 本を外して、パネル押え板、パネル押え、パネルの順に取外す。

- (3) 天井材とパネルを入れ替え、天井材の厚みに応じてパネル押え端部の折返し部を切り取りすき間のないように組立てる。

グリルと天井材の間にすき間がある場合

グリルのパネが本体の長穴に届かないときはパネ取付板調節金具の長穴分をスライドさせて調節できます。



- ネジをゆるめ天井材の厚みに応じてスライドさせネジを締付け固定する。左右同一に調節する。
- 天井材とグリルの間にすき間がないことを確認する。

お願い

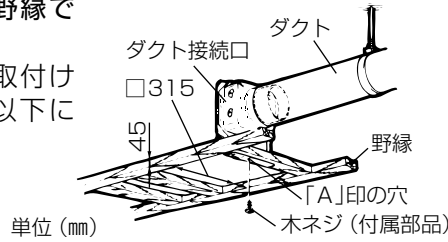
- 左右の調節を同一にしてください。

a 野縁に取付ける場合

野縁の強度が十分でない場合は天吊金具を使用する。

天井の野縁と補助野縁で取付枠を組む。

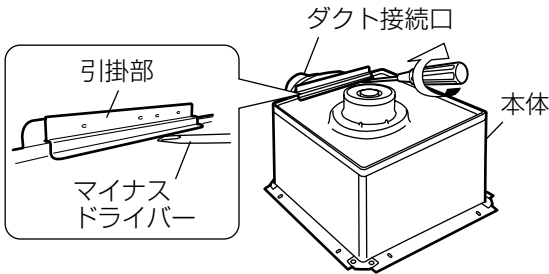
- ダクト接続口を取付ける野縁は45 mm以下にする。



本体よりダクト接続口をはずし（無理に引き抜かないでください）、野縁に取付ける。

- ダクト接続口を下図のように本体と引掛部のすき間にマイナスドライバーを差し込み、回してはずす。
- ダクト接続口を壁排気穴に向けて野縁の角の直角に合わせ、すき間がないように付属の木ネジ（1本）で仮固定する。（「A」の印の穴を使用）

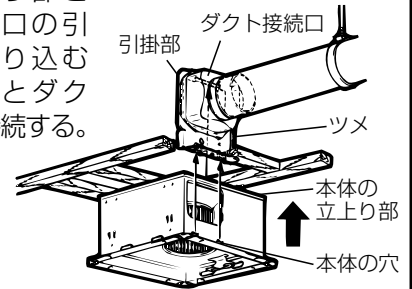
2



- お願い** ●ダクト接続をネジで行う場合は **5. 取付方法の 3 本体を吊る** を参照してください。

本体を野縁にそって差し込む。

- 本体の穴とダクト接続口の内側のツメおよび、本体の立上り部とダクト接続口の引掛部がはまり込むように本体とダクト接続口を接続する。

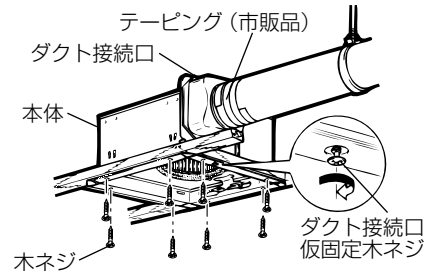


本体を固定する。

- 本体がダクト接続口に密着していることを確認し、付属の木ネジ（8本）で本体をすき間のないようしっかり固定する。（すき間は風漏れの原因）

4

ダクト接続口を仮固定している木ネジ（1本）を締付け、風漏れのないよう市販のアルミテープ等でダクト接続部をテーピングする。



5

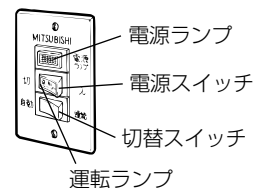
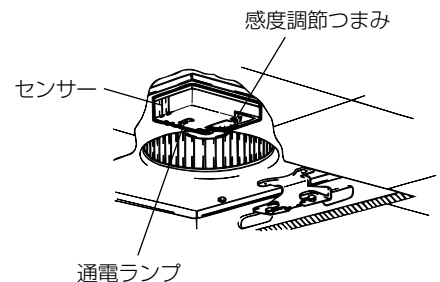
5.取付方法の **4 電気工事** へつづく

6. 試運転

取付工事が終わりましたら次の確認をしてください。

1. 正常な運転ができますか？

- (1) グリルをはずす。
- (2) 電源スイッチを「入」にし、切替スイッチを「連続」にする。
 - 電源ランプ、運転ランプ、通電ランプが点灯し、換気扇が運転を開始する。
- (3) 切替スイッチを「自動」にする。
 - 約5分間強制運転したあと、換気扇の運転が停止する。
- (4) 換気扇停止後、換気扇の下で喫煙するなどして、センサーが煙を検知して運転することを確認する。
 - 煙を検知して運転しない場合は取扱説明書の「センサー感度調節」を参照し、確認してください。
- (5) 電源スイッチを「切」にして、グリルを取付ける。



2. 振動・異常音はありませんか？

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話 0573-66-2111

この説明書は、再生紙を使用しています。